

## 4. 移動美術館

### 第42回岐阜県移動美術館 ナンヤローネミュージアム 坪内節太郎と石川勇展

会 期 2018(平成29)年2月16日(金)から3月4日(日)まで 会期中無休、計17日間

会 場 美濃市中央公民館3階展示室、吉田工房(サテライト会場)

観 覧 料 無料

主 催 岐阜県美術館、美濃市、美濃市教育委員会、特定非営利法人四つ葉のコウゾ

出品点数 46点(坪内節太郎18点、石川勇28点)

観覧者数 2,681人(サテライト会場の来場者数を含む。中央公民館1,126人、吉田工房1,555人)

### 趣旨

岐阜県美術館は、県民に親しまれ、開かれた美術館として活動を幅広く推進するため、開館2年後の1984年より「岐阜県移動美術館実施要綱」に基づき、美術館から遠隔地において移動美術館を開催している。当館収蔵作品をより多くの県民に鑑賞いただくだけでなく、地域文化の振興に寄与することを目的とする。

42回目を迎える今回は、戦時中、美濃市に疎開していた各務原出身の画家坪内節太郎(1905-1979)と、美濃市出身で絵本挿絵でも活躍した画家石川勇(1922-1989)の2名を紹介した。会場には当館所蔵品とともに特別出品作品を展示した。坪内の《松風》は、以前美濃小学校の講堂に掛けられ、石川の作品は現在も地元の文化施設に展示されている。本事業を契機に改めて市民の日常生活に溶け込んでいた郷土ゆかりの作家を再認識する機会となった。また旧美濃市街地に残る、通称“うだつの上がる町並み”に設けたサテライト会場では関連イベントを開催し、両作家を育んだ美濃の文化や歴史、気候風土にも触れ親しむ機会とすることを試みた。

本展開催にあたっては、開催地での作家作品調査を実施した。その過程で新たな資料発見による研究の発展や、石川の新制作時代に制作された代表作の収集等、美術館から飛び出して地域で開催する移動美術館の意義を実感することとなった。

### 関連催事

#### ・作品鑑賞会「絵画への誘い」

絵を描くこととはどういうことか、2人の画家が戦後に美濃を舞台にたどった絵の世界を解説した。

日 時 2月18日(日)14:00~14:45

場 所 美濃市中央公民館 展示室

講 師 当館学芸員

#### ・ワークショップ「石川勇・坪内節太郎で《Such Such Such》<sup>あんな そんな こんな</sup>」

日 時 2月18日(日)10:30~15:30(14:00~14:45 作品解説中を除く)

場 所 美濃市中央公民館 展示室および学習室

担 当 当館教育普及係

#### ・ワークショップ「石川勇がさし絵を描いた絵本の読み聞かせ」

日 時 3月4日(日)11:00~、13:30~、15:00(各20分程度)

場 所 吉田工房

担 当 特定非営利活動法人四つ葉のコウゾ・読み聞かせボランティア木風舎<sup>もくふうしゃ</sup>

#### ・ワークショップ「うだつの街で~坪内節太郎ゆかりの地と共に~《Such Such Such》<sup>あんな そんな こんな</sup>」

日 時 3月4日(日)10:30~15:30(12:00~13:00 休憩時間を除く)

場 所 吉田工房

担 当 当館教育普及係



第42回岐阜県移動美術館 ナンヤローネミュージアム 坪内節太郎と石川勇展 出品リスト

作家名	No.	作品名	制作年	技法・素材
坪内 節太郎	1	春	1939	油彩、画布
	2	松風 ※特別出品 美濃市立美濃小学校蔵	1943	油彩、画布
	3	葵上	1946	油彩、画布
	4	踊る	1949	油彩、画布
	5	少女	1954	油彩、画布
	6	冬日の菱	1961	油彩、画布
	7	恋飛脚大和往来 新口村の場	1964	膠彩、墨、紙
	8	熊野	1965	油彩、画布
	9	菅原伝授手習鑑 寺子屋の場	1960-1970年代	膠彩、墨、紙
	10	福寿草 大乘十来の内三来	1970年代	紙本着色
	11	砂の花	1971	油彩、画布
	12	松かさ鮎	1976	油彩、画布
	13	童女 富貴讃	不詳	紙本着色
	14	ひらかな盛衰記 逆鱗の場	不詳	膠彩、墨、紙
	15	義経千本桜 碓知盛入水	不詳	膠彩、墨、紙
	16	神靈矢口渡	不詳	膠彩、墨、紙
	17	勸進帳	不詳	膠彩、墨、紙
	18	本朝廿四考 狐火の場	不詳	膠彩、墨、紙
石川 勇	1	生贄	1958	ミクストメディア、木パネル
	2	いけにえ No.2	1959	油彩、コラージュ、木パネル
	3	狂人船	1960	ミクストメディア、木パネル
	4	静カナJAZZ	1960	ミクストメディア、木パネル
	5	翼	不詳	ミクストメディア、木パネル、金属板、画布
	6	作品名不詳 ※個人蔵	1963	版画、紙
	7	作品名不詳 ※個人蔵	1963	版画、紙
	8	狂人船 ※個人蔵	1963	水彩、紙
	9	作品名不詳 ※個人蔵	不詳	水彩、紙
	10	無題	不詳	油彩、画布
	11	無題	不詳	油彩、画布
	12	無題	不詳	油彩、画布
	13	ぶーぶのちんちん電車 ※個人蔵	不詳	水彩、ペン、紙
	14	『るるのほし』原画 15点 ※個人蔵	1973頃	水彩、ペン、紙



2月18日 石川勇、坪内節太郎で《Such Such Such》



3月4日 美濃の街並みで《Such Such Such》



3月4日 木風舎による読み聞かせ

## 5. ナンヤローネスクールミュージアム

開催日 2017(平成29)年11月16日(木)

会場 岐阜県立多治見高等学校 大会議室、桔梗会館(同窓会館)

観覧料 無料

主催 岐阜県美術館、岐阜県立多治見高等学校

出品点数 7点

観覧者数 1年生対象クラス生徒199人 その他の生徒・一般・職員156人 計355人

### 事業の流れ

#### ・職員説明会

職員を対象に、事前に当館の紹介及び本事業の内容・意義を説明。

#### ・展示

大会議室に美術館展示室を再現するため、作品は美術館で使用するクロスを張った仮設壁に展示し、外光を遮蔽し天井に設置したライティングレールから美術品専用の紫外線カット型ライトで照明。事前の環境調査データと当日の状態から温湿度コントロールを行う。桔梗会館には彫刻2点を展示し、《Such Such Such》の会場とした。

#### ・鑑賞方法

当日芸術の授業のコマがあった1年A組からE組の5クラスは、10人×4のグループを編成し、当館教育普及の職員が引率し対話型鑑賞と《Such Such Such》を行った。

### 趣旨・目的

本事業は平成17年度から始まった収蔵作品を県内各地で展示する広域美術館の3つ目の事業である。学校を開催地とすることで、学習指導要領解説における美術館との連携や、学校における鑑賞教育等の推進に寄与し、児童生徒の鑑賞力、感性を高めていく。また、広く地域社会のなかで学校が文化の薫り高い拠点としての役割を果たし、生涯教育の場となることを目指している。

27校目となる今回は、教室を美術館の展示室を模した展示環境に整え、当館収蔵作品を展示した。教科書や写真図版からでは味わうことのできない、本物の美術品を目の前にした時の感動体験や、美術館職員との対話を通して、作品から感じたことを表現する力を引き出す機会、美術鑑賞のための知識を提供した。

### 振り返り・まとめ・所感

作者の心情や意図への共感と自己の気持ちや考えを表現する言葉を大切に、生徒の発言を交えながら美術館職員の解説を聞く鑑賞体験は、生徒・職員ともに好評であった。《Such Such Such》を体験した教員からは、「それぞれの感性を物や自由な表現で形にし、仲間の作品を見ることで様々な感性の交流が生まれ、そこではじめて言葉で作品について語るとというのが新鮮だった」、生徒からは「観るだけでなく参加もできる鑑賞が新鮮で面白かった」という感想が述べられた。

学校の近郊に岐阜県現代陶芸美術館があることや、名古屋へのアクセスが良いことから、美術館に訪れたことのある生徒はある程度見込まれると思われたが、アンケートの結果5.5%であった。一方で、過去に訪れたことはないが今後行ってみたいと回答した生徒は70.5%にのぼり、スクールミュージアムの効果はあったと考えられる。

## 出品作品リスト

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法
1	ロドルフ・プレスダン	(1822-1885)	善きサマリア人	1861	リトグラフ、紙
2	宮地 志行	(1891-1936)	自画像	1922	油彩、画布
3	田中 比左良	(1890-1974)	カフェー・らくがき	1929頃	水彩、紙
4	大嶽 有一	(1949- )	Figure XVI	1984	鉄
5	日野 耕之祐	(1925-2013)	風景(多治見)	1985頃	油彩、画布
6	三尾 公三	(1923-2000)	月上る頃	1999	アクリル、板
7	天野 裕夫	(1954- )	ティオティワ亜カン	2002	石、ブロンズ



複製パネル設営



作品鑑賞



《Such Such Such》体験



《Such Such Such》体験

## 6. 観覧者数

所蔵品展示(常設展)観覧者数(四半期別/昭和57~平成29年度の年度別)

(単位:日、人)

区分	期日	日数	個人				団体				合計	共通券	招待免除	総計	1日平均
			高校生以下	大学生	一般	計	高校生以下	大学生	一般	計					
所蔵品展	H29.4月~6月	72	1,013	86	1,448	2,547	-	21	223	244	2,771	0	837	3,628	50.4
	7月~9月	75	1,719	65	841	2,625	-	0	131	131	2,751	4,278	1,159	8,193	109.2
	10月~12月	72	1,921	26	478	2,425	-	0	50	50	2,475	1,907	1,412	5,794	80.5
	H30.1月~3月	76	541	44	817	1,402	-	0	120	120	1,522	2,079	561	4,162	54.8
	計	295	5,194	221	3,584	8,999	-	21	524	545	9,544	8,264	3,969	21,777	73.8
所蔵品展(常設展)(年度)	S57年度 S57.12.22~S58.3.31	78	2,859	1,269	18,712	22,840	166	141	1,686	1,993	24,833	-	113	24,946	319.8
	58年度 S58.4月~S59.3月	305	5,581	3,516	38,123	47,220	4,450	2,457	9,010	15,917	63,137	-	675	63,812	209.2
	59年度 S59.4月~S60.3月	308	3,931	2,406	31,730	38,067	2,859	1,114	6,748	10,721	48,788	-	1,940	50,728	164.7
	60年度 S60.4月~S61.3月	284	2,908	1,745	24,816	29,469	2,706	1,754	5,178	9,638	39,107	-	2,734	41,841	147.3
	61年度 S61.4月~S62.3月	301	2,546	2,027	26,661	31,234	3,132	1,510	4,204	8,846	40,080	-	4,328	44,408	147.5
	62年度 S62.4月~S63.3月	302	1,815	1,921	22,218	25,954	3,322	962	3,476	7,760	33,714	-	2,626	36,340	120.3
	63年度 S63.4月~H元.3月	235	1,419	1,336	18,183	20,938	1,988	135	2,668	4,791	25,729	-	1,827	27,556	117.3
	H元年度 H元.4月~H2.3月	302	2,143	1,945	29,804	33,892	3,149	1,637	6,532	11,318	45,210	-	4,072	49,282	163.2
	2年度 H2.4月~H3.3月	307	1,993	1,888	27,520	31,401	2,671	1,704	6,090	10,465	41,866	-	4,386	46,252	150.7
	3年度 H3.4月~H4.3月	303	1,218	1,497	21,247	23,962	153	1,016	5,961	7,130	31,092	-	14,319	45,411	149.9
	4年度 H4.4月~H5.3月	301	1,603	1,501	21,872	24,976	189	1,562	5,147	6,898	31,874	-	6,737	38,611	128.3
	5年度 H5.4月~H6.3月	301	2,158	1,289	17,081	20,528	-	1,317	3,924	5,241	25,769	-	7,950	33,719	112.0
	6年度 H6.4月~H7.3月	300	2,390	990	14,410	17,790	-	1,650	4,081	5,731	23,521	-	5,360	28,881	96.3
	7年度 H7.4月~H8.3月	304	1,373	976	15,324	17,673	-	1,098	4,196	5,294	22,967	-	7,325	30,292	99.6
	8年度 H8.4月~H9.3月	300	3,866	587	12,740	17,193	-	66	3,210	3,276	20,469	-	7,432	27,901	93.0
	9年度 H9.4月~H10.3月	300	10,409	557	11,390	22,356	-	110	2,687	2,797	25,153	-	4,171	29,324	97.7
	10年度 H10.4月~H11.3月	298	9,269	229	5,200	14,698	-	100	898	998	15,696	26,352	2,867	44,915	150.7
	11年度 H11.4月~H12.3月	305	6,472	208	4,654	11,334	-	28	697	725	12,059	42,129	2,383	56,571	185.5
	12年度 H12.4月~H13.3月	305	6,372	208	4,272	10,852	-	41	932	973	11,825	27,454	2,281	41,560	136.3
	13年度 H13.4月~H14.3月	305	4,051	177	3,120	7,348	-	0	516	516	7,864	19,447	2,071	29,382	96.3
	14年度 H14.4月~H15.3月	248	4,073	138	2,302	6,513	-	0	207	207	6,720	25,765	2,133	34,618	139.6
	15年度 H15.4月~H16.3月	306	8,442	206	3,986	12,634	-	19	460	479	13,113	23,074	3,015	39,202	128.1
	16年度 H16.4月~H17.3月	184	3,623	60	1,706	5,389	-	25	652	677	6,066	13,456	2,189	21,711	117.9
	17年度 H17.4月~H18.3月	307	6,925	291	7,103	14,319	-	20	700	720	15,039	16,225	5,615	36,879	120.1
	18年度 H18.4月~H19.3月	307	6,894	129	2,396	9,419	-	0	142	142	9,561	22,215	5,715	37,491	122.1
	19年度 H19.4月~H20.3月	308	15,659	165	3,936	19,760	-	44	844	888	20,648	73,006	7,406	101,060	328.1
	20年度 H20.4月~H21.3月	307	5,959	206	3,729	9,894	-	1	574	575	10,469	11,880	5,160	27,509	89.6
	21年度 H21.4月~H22.3月	279	3,907	317	7,349	11,573	-	0	970	970	12,543	9,579	3,745	25,867	92.7
	22年度 H22.4月~H23.3月	307	4,784	165	3,297	8,246	-	0	473	473	8,719	16,504	4,200	29,423	95.8
23年度 H23.4月~H24.3月	215	3,904	146	3,903	7,953	-	0	672	672	8,625	4,779	3,347	16,751	77.9	
24年度 H24.4月~H25.3月	305	7,189	197	4,143	11,529	-	0	675	675	12,204	25,817	5,942	43,963	144.1	
25年度 H25.4月~H26.3月	295	8,759	85	2,177	11,021	-	1	524	525	11,546	24,018	6,553	42,117	142.7	
26年度 H26.4月~H27.3月	295	5,452	156	3,204	8,812	-	33	486	519	9,331	17,033	6,106	32,470	110.0	
27年度 H27.4月~H28.3月	289	5,605	138	1,994	7,737	-	0	465	465	8,202	26,350	6,241	40,793	141.1	
28年度 H28.4月~H29.3月	300	5,075	274	5,212	10,561	-	3	924	927	11,488	11,061	5,598	28,147	93.8	
29年度 H29.4月~H30.3月	295	5,194	221	3,584	8,999	-	21	524	545	9,544	8,264	3,969	21,777	73.8	
開館日からの累計		10,291	175,820	29,166	429,098	634,084	24,785	18,569	87,133	130,487	764,571	444,408	162,531	1,371,510	133.3

※平成7年度までは、「高校生以下」欄を「小・中学生」、「大学生」欄を「高校・大学生」として集計していた。

※平成5年度からは、高校生以下の団体鑑賞者数を集計せず、すべて個人鑑賞者としてカウントしている。

## 企画展・共催展観覧者数

(単位:日、人)

展覧会名	期 日	日数	個人			団体			合計	小中 高生	免除 招待	総計	1日 平均
			大学生	一般	計	大学生	一般	計					
清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017	4.15~6.11	50										35,239	705
岐阜県青少年美術展	6.24~7.2	(8)										(9,884)	1,236
日本画の逆襲	7.15~8.27	38	145	2,835	2,980	0	93	93	3,073	725	1,923	5,721	151
BY 80s FOR 20s	9.8~10.29	45	77	1,976	2,053	25	125	150	2,203	1,602	1,126	4,931	110
アートまるケット 日比野克彦 ディレクション 「ツナがり ツナがる ツナがれば」	8.25~11.3	61										41,781	685
ディアスポラ・ナウ! 〜故郷をめぐ <sup>ワタシ</sup> る現代美術	11.10~H30.1.8	45	89	1,179	1,268	1	33	34	1,302	1,015	1,058	3,375	75
第9回 円空大賞展	H30.2.2~3.11	33	91	1,614	1,705	0	51	51	1,756	293	1,658	3,707	112
合 計		(8) 280	402	7,604	8,006	26	302	328	8,334	3,635	5,765	(9,884) 104,638	374

※合計欄の( )内の日数及び人数は、岐阜県美術展の内数である。

## 所蔵拡大展観覧者数

(単位:日、人)

展覧会名	期 日	日数	個人			団体			合計	小中 高生	免除 招待	総計	1日 平均
			大学生	一般	計	大学生	一般	計					
IAMAS ARTIST FILE #5 前林 明次	7.22~8.20	32	103	1,991	2,094	0	78	78	2,172	676	1,148	3,996	125

※所蔵拡大展の観覧者数は所蔵品展示の観覧者数に含まれる。

## 事業別観覧者(参加者)数

(単位:人)

年度	所蔵品展示	企画展示	教育普及事業	県民ギャラリー等	美術館入館者数	移動美術館等	美術館事業参加者総数
16	21,711	54,943	5,447	68,644	150,745	9,294	160,039
17	36,879	61,443	11,339	87,958	197,619	9,361	206,980
18	37,491	92,112	8,228	85,732	223,563	4,910	228,473
19	101,060	171,537	6,139	95,635	374,371	4,735	379,106
20	27,509	49,893	5,588	81,497	164,487	2,546	167,033
21	25,867	41,237	11,805	81,656	160,565	1,289	161,854
22	29,423	50,265	8,186	82,726	170,600	1,588	172,188
23	16,751	24,471	5,677	80,507	127,406	1,531	128,937
24	43,963	74,670	10,157	89,157	217,947	1,295	219,242
25	42,117	76,400	7,736	80,302	206,555	3,056	209,611
26	32,470	60,390	8,280	87,800	188,940	12,098	201,038
27	40,793	121,248	14,782	85,817	262,640	1,774	264,414
28	28,147	75,519	9,060	92,985	205,711	2,286	207,997
29	21,777	104,638	20,230	69,996	216,641	5,235	221,876

(注)所蔵品展示室の観覧者数には、企画展観覧券で入場した者も含む。

「県民ギャラリー等」には、講堂、多目的ホール、庭園などの貸館事業による利用者を含む。

「移動美術館等」には、スクールミュージアム、館外でのワークショップ、出前講座の参加者を含む。